

令和7年度 岩手県立千厩高等学校 入学式

【校長式辞】

艶やかな紅色や、清廉な白色に咲き誇る梅の花が満開を迎え、一夜にして淡い桃色の花を咲かせるであろう桜の老木が並んでいる、そんなうららかな春の佳き日に、加藤PTA会長様、畠山同窓会長様をはじめ、たくさんの御来賓の方々の御列席を賜り、令和七年度岩手県立千厩高等学校の入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであり、教職員を代表し、心より厚く御礼申し上げます。

御家族の皆さま、本日は、誠におめでとうございます。今日の子どもたちの晴れ姿を見てどのような感慨を抱いていますか。どんなお子さんでしたか。泣き虫でしたか。きかん坊でしたか。反抗もしましたか。親を困らせましたか。

育つ過程では、どんな出来事も、終わってみれば懐かしく微笑ましい思い出に変わります。入学式は、家族が笑顔になれる日。家族と生徒の苦労や頑張りが報われる日です。今日この日を無事に迎えられて、本当に良かったですね。

さて、先ほど入学を許可した一四〇名の新入生の皆さん、入学本当におめでとう。たくさんある高校の中から、千厩高校を選んでくれたこと、本当にうれしく思います。ありがとう。千厩高校の教職員、在校生一同、心より歓迎します。

未来圏から吹いてくる希望に満ちた風を、体いっぱいを感じながら、あなただけの大切な第一歩を、力強く、威風堂々と、大股で、前に踏み出してください。

千厩高校は、今年度創立一二三年を迎える県内でも屈指の伝統校で、生徒数も四三〇名を超える大規模校の一つです。卒業生は約三万名で、地域を愛し、地域で輝く方々や、故郷を離れ、国内外で活躍する人材を数多く輩出してきました。

校訓は、質実剛健、文武両道。自主自律の精神に富み、生涯にわたり学ぶ意欲と、国際的視野を持った、心身共に健康でたくましい人間を育成することを、教育目標に掲げています。

千厩高校は、ユーモアと笑い、フェアな言動を大切にしています。皆を愉快にさせ包み込む笑いは、学校に一体感をもたらし人の心を温かくします。周りの人たちが笑顔になるよう、仲間を笑顔にするよう、ユーモアを忘れないでください。

フェアな言動とは、公正であるということです。権力や有利な立場を利用してのズルい振る舞いや、公私混同をしないこと、個性、容姿、職業、財産、学力、運動能力など、一番大切な、その人らしさを馬鹿にしたり、悪口を言ったりしないことです。

卑怯な言動をしてはなりません。その場にいる人みなが幸せを感じられるよう、自分の頭で考えて判断し、フェア、公正明大な発言と行動を、心掛けてください。

きっと・あなた自身が幸せになるでしょう。

私からみなさんにメッセージがあります。それは「あなたの存在そのものが、必ず誰かを幸せにしている」ということです。あなたの大切な命ある限り、あなたがそこに存在し、頑張っていること自体に、一番近くにいる人々は、幸せを感じているのです。勉強の成績の良し悪しや運動神経の優劣、障がいの有無など全く関係ありません。毎日そこにいてくれることそれこそが、誰かを幸せにしているのです。あなたは、あなたが愛する人にとっての太陽なのです。

我々、千厩高校もあなた方にとってファミリーです。生徒でいてくれること、毎日笑顔でいてくれること、それ自体に、我々は幸せを感じるのです。

思春期には、誰もが悩んだり苦しんだり、寂しさや孤独を感じたり、試合に負けたり、恋に破れ、友だちと喧嘩したりと、思い通りにならないときがたくさんあります。泣きたい夜も、学校に行きたくない日もあるでしょう。

でも、大丈夫です。千厩高校は大きな愛でみなさんを待っています。一緒に頑張っていきましょう。ただし、頑張れない時には、安心して弱音を吐きましょう。苦しみを告白しましょう・オールOKです。誰かがきっとあなたを支えてくれます。

新入生のみなさん、ユーモアと笑い、フェアな言動を大切に、「あなたの存在そのものが、必ず誰かを幸せにしている」ことを忘れないでください。

千厩高校が建つこの岡は、山仰台と呼ばれます。「遠くに秀峰室根富士を眺め、師を仰ぎつつ学ぶ岡」という意味が込められています。

毎日、山仰台にたたずむ千厩高校に来るのが楽しくて仕方がない、そんな笑顔あふれる、心豊かな高校生活を送ることを祈念して、式辞とします。

令和七年四月九日

岩手県立千厩高等学校
校長 熊谷道仁